

多重・分散型国土軸の形成と災害時の リダンダンシーの確保について

【担当省庁】国土交通省

1 新名神高速道路の早期全線開通

- 新名神高速道路を早期に全線開通していただきたい。
特に城陽～八幡間については予定どおり平成 28 年度に開通して
いただきたい。

2 城陽スマートインターチェンジ・宇治木津線の早期事業化

- 平成 35 年度の新名神高速道路全線開通に合わせて、城陽スマー
トインターチェンジを供用するため、市府と連携の下、国において
さらに検討を進め、早期に事業化を図っていただきたい。
- 平成 35 年度の新名神高速道路の全線開通に合わせて府・地元市
町村でまちづくりを進めているため、宇治木津線を以下のスケジュ
ールで進めていただきたい。そのためにも、今年度は直轄で早期に
ルート案を決定をしていただきたい。

スケジュール

平成 28 年度 ルート決定

平成 29～30 年度 環境調査、都市計画決定、新規事業化

平成 35 年度 部分供用

3 「山陰近畿自動車道」の早期完成

- 「山陰近畿自動車道」（鳥取豊岡宮津自動車道：京丹後大宮 I C
～（仮称）大宮峰山 I C 等）の早期完成をお願いしたい。

【現状と課題等】

多重・分散型国土軸の形成と災害時のリダンダンシーの確保を図るため、新名神高速道路等の整備や日本海側国土軸の形成に不可欠な「山陰近畿自動車道」のミッシングリンクを解消し、新たな国土軸の着実な形成を進めていくことをお願いしたい。

京都縦貫自動車道が平成 27 年 7 月に全線完成し、沿線では北部の主要観光地の来場者数が 3 割増加するなど既にストック効果が発現してきており、平成 28 年度に新名神高速道路（城陽～八幡間）、山陰近畿自動車道（野田川大宮道路）が供用し、京都府

の南北が繋がる効果を活かし、ストック効果が府全域に現れるようアクセス道路などの整備をお願いしたい。

【参考】

路 線 名		要 望 内 容	
高規格幹線道路	新名神高速道路	城陽・八幡間	事業促進（平成 28 年度完成）
		大津・城陽、八幡・高槻	事業促進（平成 35 年度完成）
	舞鶴若狭自動車道	福知山・舞鶴西間	4 車線化の早期完成
地域高規格道路	山陰近畿自動車道 (鳥取豊岡宮津自動車道)	野田川大宮道路	事業促進（平成 28 年度完成）
		大宮峰山道路	早期完成（直轄権限代行）
		峰山以西	全線早期事業化
	宇治木津線	城陽・木津間	国での早期事業化(計画段階評価調査)

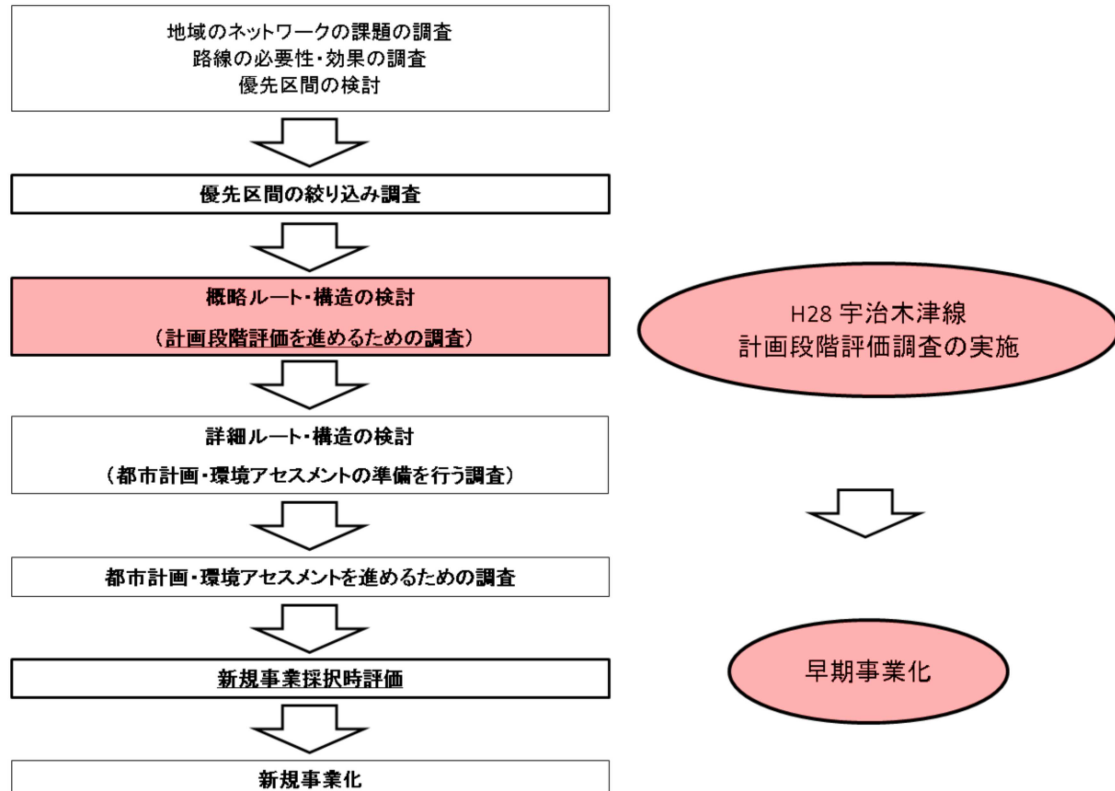
○ 城陽スマートインターチェンジの検討状況

平成 27 年 6 月 スマートインターチェンジ準備段階調査箇所に採択

8 月 城陽スマートインターチェンジ準備会開催

○ 宇治木津線の検討状況

◇道路調査の流れ



【京都府の担当部局】

建設交通部 道路計画課 075-414-5246